

◎ 資料

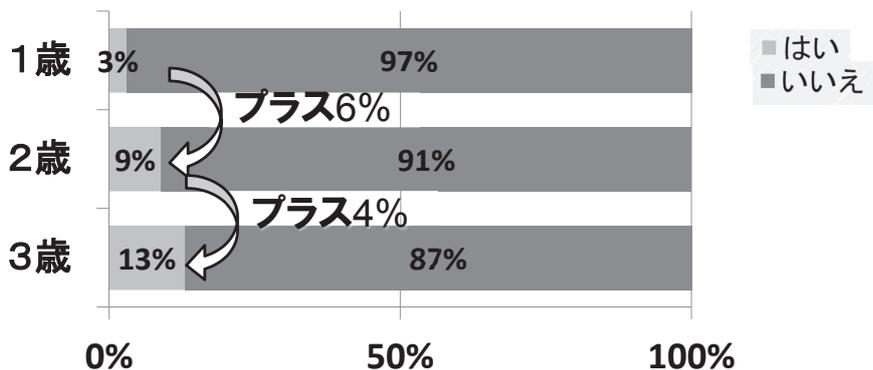
1. 全国集計データ分析結果

平成28年1月16日に開催された「エコチル調査5周年記念シンポジウム」(環境省主催)の資料の中から、主なものを掲載します。

(注意) 図表の数値は、平成26年の回答にもとづくデータクリーニング前の暫定的な結果です。

ぜん息 **お子さんは、今までにぜん息になったことがありますか。**

※本集計結果の「ぜん息」は、自記式質問票による回答です。



当然ですが、年齢を重ねるごとにぜん息を経験したお子さんが増えている

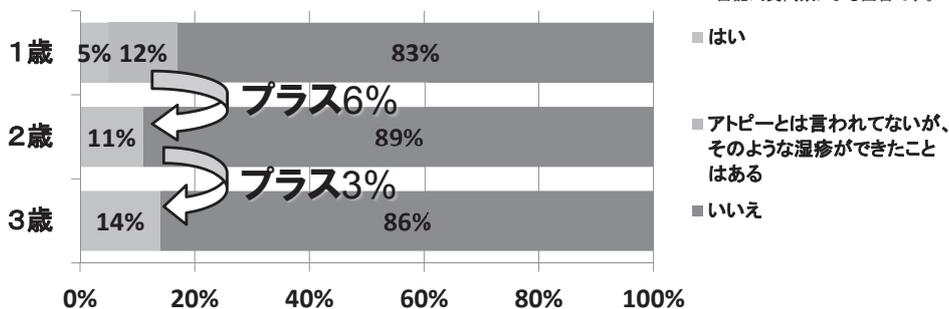
※回答数: 25963件、無回答: 1歳716件、2歳758件、3歳74件
 ※喘息になったことがあると回答した以降にないと回答したものは、あるとして集計した。

2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。¹
 環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

アトピー性皮膚炎

質問(1歳) : お子さんはこれまでにアトピー性皮膚炎の湿疹になったことがありますか。
 質問(2、3歳) : お子さんは、今までにアトピー性皮膚炎になったことがありますか。

※本集計結果の「アトピー」は、自記式質問票による回答です。



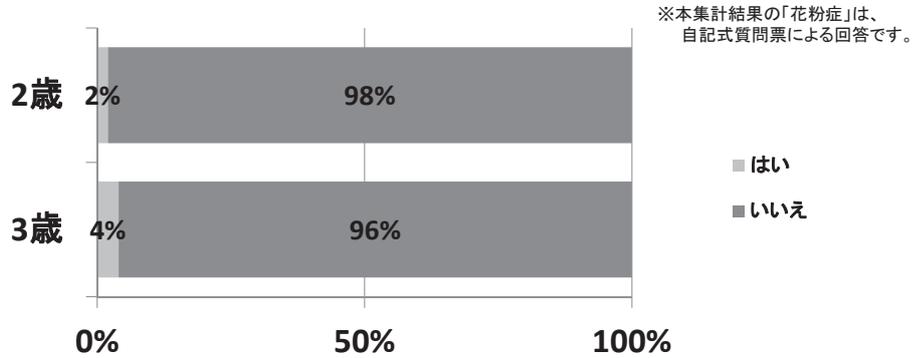
当然ですが、年齢を重ねるごとにアトピー性皮膚炎を経験したお子さんが増えている

※回答数: 25963件、無回答: 1歳648件、2歳814件、3歳124件
 ※アトピー性皮膚炎になったことがあると回答した以降にないと回答したものは、あるとして集計した。

2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。²
 環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

花粉症

お子さんは、今までに花粉症になったことがありますか。



実際に、年齢を重ねるごとに花粉症のお子さんが増えている

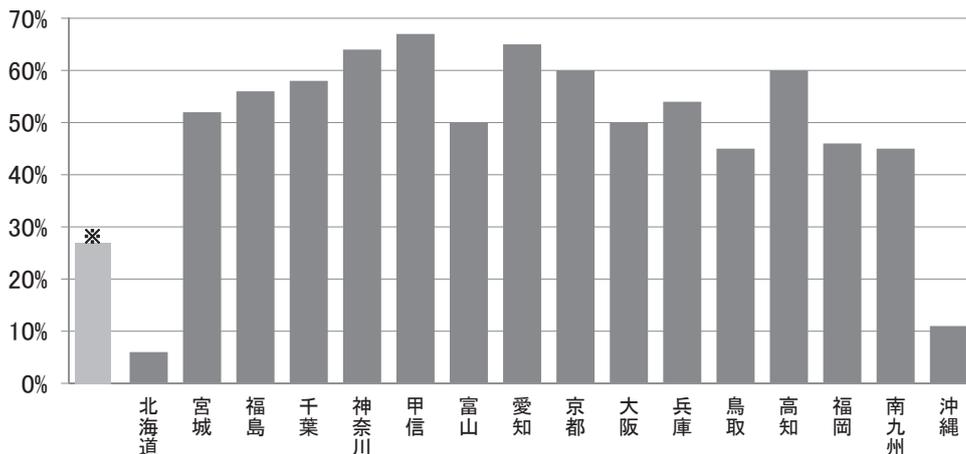
※回答数：25963件、無回答：2歳843件、3歳194件
 ※花粉症になったことがあると回答した以降にないと回答したものは、あるとして集計した。

2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。 3
 環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

妊婦さん

地域別スギ花粉特異的IgE陽性※
 ※クラス2以上

全参加者の内、採血した90,583人の妊婦さんのデータ

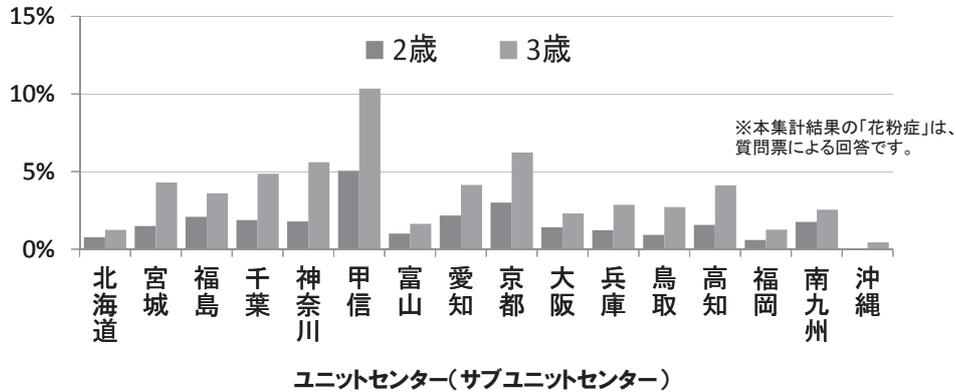


※北海道ではシラカンバについても測定 ユニットセンター(サブユニットセンター)

2015年6月5日時点のデータに基づく暫定的な結果です。 4
 環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

子ども

お子さんは、今までに花粉症になったことがありますか



地域によって、花粉症のお子さんの数に差が見られる

回答数: 2歳56786件、3歳25963件、無回答: 2歳403件、3歳194件

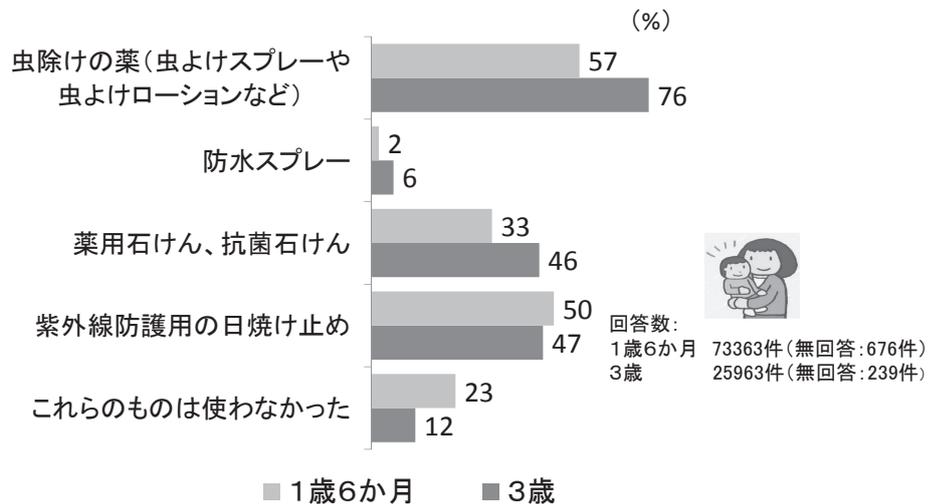


2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。

5

環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

この1年間に、お子さん自身やお子さんの衣類などに使用したもの(複数回答)



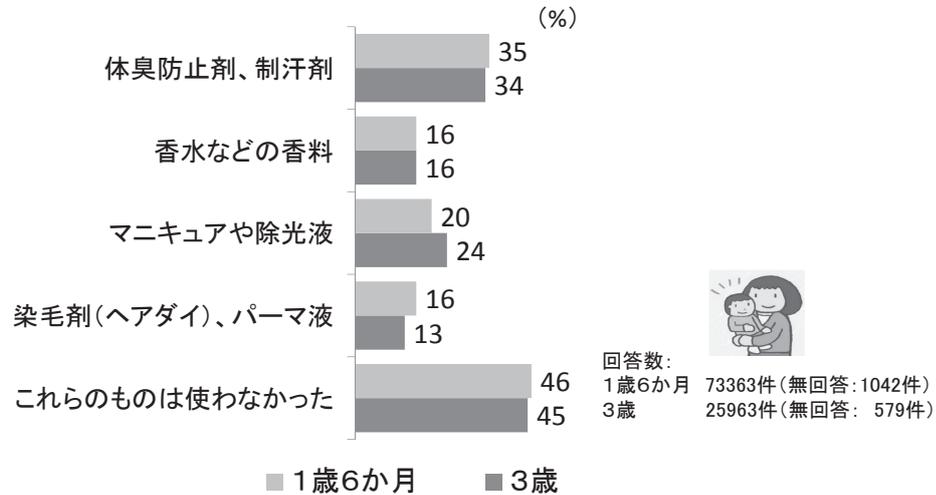
◆ 使用している割合が、1歳6か月に比べて、3歳が多い傾向。

(注意) 2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。

6

環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

この1年間に、あなたがお子さんのそば (お子さんのいる部屋)で使用したもの(複数回答)

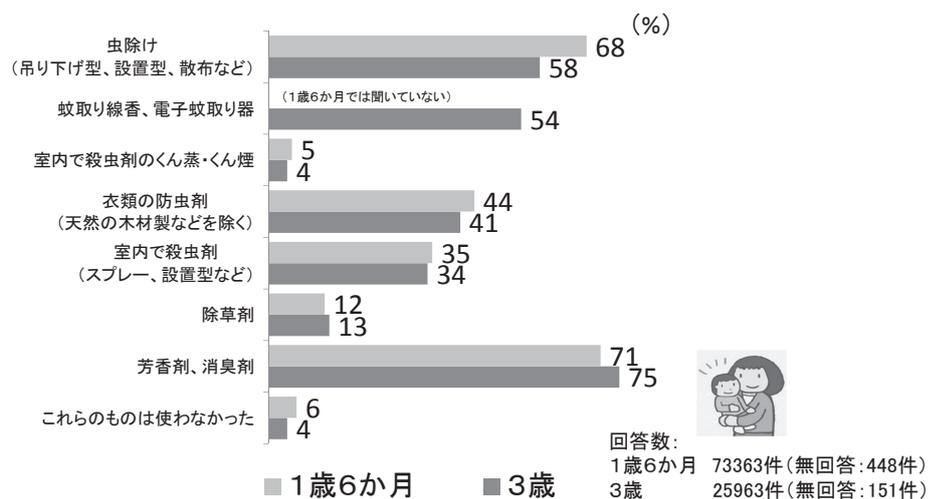


◆ 約半数が、子どものそばで、使用していない。

(注意) 2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。 7

環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

この1年間に、ご自宅で使用したもの(複数回答)

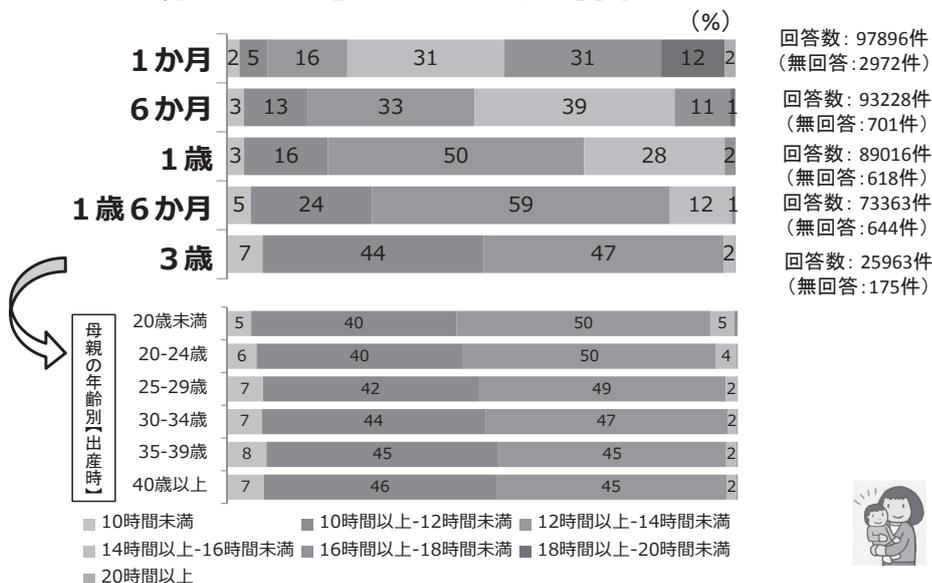


◆ 使わない人は5%程度。

(注意) 2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。 8

環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

赤ちゃん・子どもの睡眠時間は？



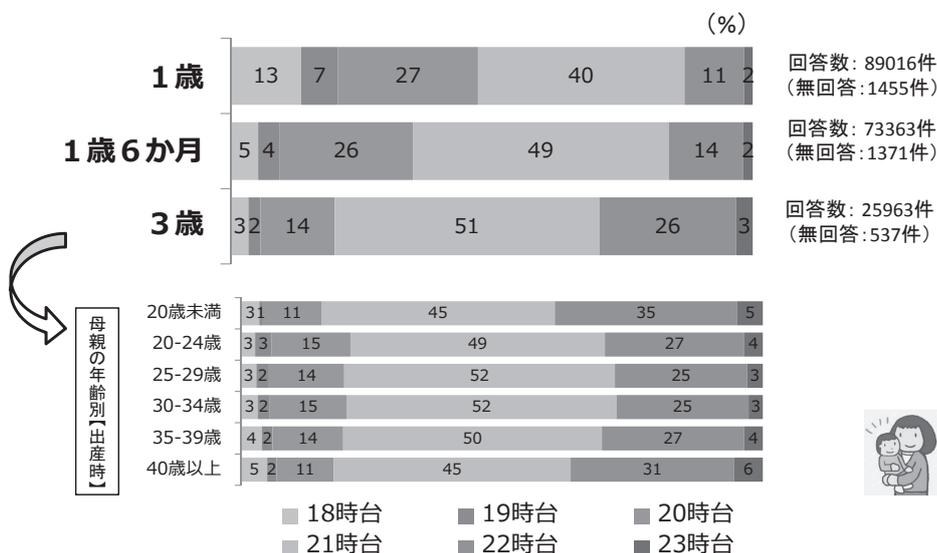
- ◆ 3歳児の場合、7%が、推奨される睡眠時間（10-13時間）※ 以下。
- ◆ 睡眠が短いことによる影響が懸念される。

※全米睡眠財団による

(注意) 2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。 9

環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

赤ちゃん・子どもの就寝時刻は？



- ◆ 3歳児の場合、22時以降に寝かせているお母さんが約3割。

※質問票の18時から23時半までで、はじめてチェック(横線)がついた時刻を就寝時刻として集計したものの。

(注意) 2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。 10

環境省HP「イベントの開催」5周年記念シンポジウム資料から

2. エコチル調査5周年記念シンポジウムポスター

エコチル調査5周年記念シンポジウムが、平成28年1月16日に日本科学未来館で開催され、その会場で掲示した福島ユニットセンターのフォローアップに関する取り組みについてのポスターです。

参加者対象人数：母親 12,506名, 子ども 12,619名, 父親 8,525名 (2015年10月末現在)

参加者対象地域：福島県全域 (59市町村)

1. 実施体制

- 開始時の対象地域は14市町村だったが東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故後、県内から県全域で調査を望む声が高まり、**全59市町村**に拡大された
- 県内のほぼ90%の産婦人科医療施設がリクルートに協力 (60施設中52施設)
- リクルート期間では福島の妊婦さん*の2人に1人が参加 (*2011.1～2014.3の妊婦さん)

対象地域：福島県全域

福島県は、各地に都市が分散し、7つの特色のある生活圏が形成されています。



質問紙調査実施状況

対象児	福島UC			15UC総計
	発送数	完了数	完了率 (%)	完了率 (%)
6ヶ月児	12,830	12,412	96.7	94.0
1歳児	10,407	9,796	94.1	91.0
1.5歳児	7,210	6,618	91.8	88.7
2歳児	3,873	3,440	88.8	86.9
2.5歳児	1,969	1,739	88.3	85.4
3歳児	1,166	1,017	87.2	83.7

2015.11.5現在 発送後6ヶ月
出典:2015.11.10 実務担当者WEB会議資料

2. フォローアップ活動報告：イベント実施状況

福島UCモットー

「福島の子どもの成長を家族とともに13年間見守る」
「顔が見える」参加者さんとのコミュニケーションを大切にする

エコチルふれあい会

2012年度からこれまでの3年半の間に、参加者間・参加者-スタッフ間交流を目的とし、**6ヶ月、1.5歳、3歳の子を対象**に県内各地で**約70回**開催。これまでに、**1200組**を超える親子が参加。



6ヶ月児
ベビーマッサージ



1.5歳児
親子遊び・ミニ運動会など



3歳児
リズム体操

※毎回、「顔が見える」コミュニケーションとして、参加者さん同士が交流できる茶話会・育児相談・小児科医師ミニレクチャーの時間を設けている



絵本読み聞かせ



こぼちる

マスコットキャラクター
「こぼちる」

子どもの健やかな成長を願った福島の郷土玩具がモチーフ

ニュースレター発行

年4回
発行



ホームページ

イベントお知らせ・
スタッフ紹介など
<http://www.ecochil-ukushima.jp/>



コンサート・講演会

エコチルコンサート・
子育て講演会など
各地で開催



電話での育児相談
も受け付けています

福島ユニットセンター



公立大学法人

福島県立医科大学

3. ニュースレター：2015年夏号(平成27年7月発行)



発行／エコチル調査福島ユニットセンター

10万人を一度に見ることができる顕微鏡

エコチル調査福島ユニットセンター長
小児科医

橋本浩一



エコチル調査は5回目の夏を迎えました。皆さまいかがお過ごしでしょうか？

東日本大震災の直前に開始されたエコチル調査は、平成27年1月で満4年となり、最初の年に生まれたエコチルキッズは4歳となり幼稚園の年少さんです。

参加者登録数は、全国では目標の10万人を達成し、福島県では参加登録期間の県内の妊婦さんの、「二人に一人」にあたる13,134人の妊婦さんが参加しました。昨年12月までに出産が終了し、12,000人を超す子ども達と約8,000人の父親も参加されています。いずれも全15ユニット最多の人数です。



多くの人を乗せ「エコチル福島丸」はフォローアップを中心とする13年間の大海原へ大きなマストを広げ出帆しました。半年ごとの質問票の福島県での回収率は概ね90%であり、つねに全国平均を上回り、ご家族の皆さまの熱心な取り組みに感謝するばかりです。昨年10月からは、全体の5%の方にランダムにご協力をお願いする詳細調査が開始されました。同意の後、昨年11月からご自宅での環境測定、そして本年4月からは病院等での医学的検査、精神神経発達検査を行っています。

10万人を母集団に持つ研究とは10万人を一度に見ることができる顕微鏡が手元にあるようなものです。エコチル調査で得られるデータは予想値ではなく、10万人の本当の生活の様子です。10万人の参加者に寄り添い、ご協力いただき、確かなエビデンス^{*}に基づく「安心で安全な子育て環境」を未来の子ども達にプレゼントすることがエコチル調査に課せられた宿題です。暑さに負けず一緒に夏を乗り切りましょう。

※科学的根拠、信頼性のあるデータ

ニューズレター：2015年秋号(平成27年9月発行)

Japan
Eco&Child
Study



エコチル ふくしま 通信



発行/エコチル調査福島ユニットセンター

産婦人科から小児科へ —実りあるエコチルへ—

今年の猛暑は例年になく厳しかったですが、最近はややかな秋風とともに山々の木々も美しく色づき始め、秋の深まりを感じられる実りの季節になってきました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

平成23年1月から始まったエコチル調査も、皆さまの絶大なご協力とご支援により平成26年3月末をもって産婦人科でのお母さまのリクルートが終了し、さらに平成26年の12月をもって全てのお母さまのお産も無事終わりました。途中、東日本大震災があり、平成24年10月からは福島県内にお住まいになっている全ての妊婦さまが対象となり、合計13,000人を超える方にご参加いただきました。この参加者数は、全国15箇所のなかでトップです。これだけ沢山の皆さまにご参加いただいたのは、お母さまやお父さまのご協力はもちろんのこと、福島県内の産婦人科の先生、助産師さん、看護師さん、皆

エコチル調査福島ユニットセンター 副センター長
福島県立医科大学医学部 産婦人科学講座 教授



藤森 敬也

様のご協力なくては達成できませんでした。本当にありがとうございました。

今後、エコチルは主に皆さまにお願いする質問票による調査と、一部の方々にお願いする詳細調査によって、産婦人科の先生から小児科の先生へ引き継がれていきます。それと同時に、少しずつではありますが、全国のみならず、福島県内の皆さまのデータの解析や分析が行なわれて、エコチルの実がどんどんなっています。

今後もお子さまの成長と実りを目指して、福島ユニットセンターや国の研究機関がサポートして参りますので、将来の子供たちの健やかな成長のための調査に今後ともご協力下さい。

Event

エコチルふくしま 子育て講演会 & コンサートのお知らせ

日時 平成27年11月14日(土)
場所 郡山市民文化センター 中ホール

会場の皆様にお会いできるのを楽しみにしております!

**「なんでも相談コーナー」
ブースも設けます**

育児相談や健康相談、質問票に関する疑問や質問、なんでも聞いてくださいね!お待ちしております☆

子育て講演会
心と体をつくる
食事学
※予定 東京農業大学 名誉教授
農学博士 小泉 武夫 先生

コンサート 親子で楽しむ
「ケロポンスコンサート」

※応募方法など、詳細は同封のチラシまたはホームページをご覧ください。

**オリジナル身長計を
同封しています。**

エコチルふくしまのオリジナル身長計で、お子さまの成長を記録してみませんか? 140cmまで測ることができるので、とても便利です♪ 質問票に身長を記入する際などに、ぜひご利用下さい。



エコチル ふくしま通信



発行/エコチル調査福島ユニットセンター

「こぼちるちゃん」は満5歳になります

平成23年1月に開始されたエコチル調査は、皆さま方の温かいご支援により、平成28年1月で晴れて満5歳を迎えます。

エコチル調査には、平成26年3月まで、全国ではリクルート目標数としていた100,000人を上回る妊婦さんに参加いただき、福島県では、当初は県北および相双地区を対象に開始されましたが、東日本大震災を受け平成24年10月からは福島県全域に拡大され、13,000人を超える妊婦さんに参加いただいています。全国に15カ所ある地域ユニットセンターの中でも、最も多く参加いただいているのが福島ユニットセンターです。

平成26年3月に産婦人科での妊婦さんのリクルートが無事終了し、平成26年4月からは、出生されたお子さんを対象とするフォローアップが中心になりました。「全体調査」では、皆さまに、6か月ごとに質問票の記入をお願いし、これが13歳まで続くこととなります。また、平成26年10月からは、全国で5,000人を対象とする居住

エコチル調査福島ユニットセンター 副センター長
福島県立医科大学医学部 小児科学講座 教授

細矢 光亮



環境調査や精神神経発達検査などを行う「詳細調査」が開始され、福島ユニットセンターにおいても詳細調査参加者のリクルートが進められているところです。全国の地域ユニットセンターの中で、「全体調査」や「詳細調査」に最も多く参加いただいているのも福島ユニットセンターですので、福島でのフォローアップの成否がエコチル調査全体を左右すると言っても過言ではありません。今後13年間の長期にわたるフォローアップは、ご家族の皆さまのご協力なくして成し得ません。そして、多くの方々到最后までご協力いただいて初めて、エコチル調査の「安心して子育てができる環境を」という最終的な目的が達成されることとなります。

未来の日本を担う子どもたちの健やかな成長のために、引き続きご協力をお願いいたします。

子育て講演会 & コンサート 開催しました!

子育て講演会
「心と体をつくる
食事学」

ケロボンズ
コンサート

11月14日(土)、郡山市民文化センターで「子育て講演会&コンサート」が開催されました。あいにくの雨でしたが、たくさんの方にご来場いただきまして、本当に有難うございました。

第一部は、農学博士で発酵学者の小泉武夫先生(本県小野町のご出身です)の講演。食べ物が私たちの心と体と与える影響や、世界に誇れる日本の伝統的な食文化「和食」の素晴らしさを改めて教えていただきました。

第二部のスタートはエコチル調査のご報告。続いてケロボンズさんのコンサート。楽しいトークとユニークな歌や体操で、会場中が大盛り上がり。親御さんもお子さんも(スタッフも!)元気に踊りました~!

これからも、皆様に楽しんでいただけるイベントを開催していきます。今回、残念ながらご参加いただけなかった皆様も、機会がありましたらぜひご参加ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



エコチル調査 6年目に入りました

エコチル調査福島ユニットセンター
副センター長
福島県立医科大学医学部
公衆衛生学講座 教授

安村 誠司



エコチル調査の正式名称は、「子どもの健康と環境に関する全国調査」です。日本では近年、アレルギー疾患・喘息などの増加や精神発達障害などの増加が指摘されて、その原因の一つとして、環境にあるさまざまな化学物質が注目されています。そのような状況を踏まえ、環境省では、日本中で10万組の子どもたちとそのご両親に参加して頂くエコチル調査を2011年より実施しています。福島では2011年1月から登録を開始しましたが、3月11日に東日本大震災が発生し、その後の東京電力福島第一原子力発電所事故により、一時中断せざるを得なくなりましたが、翌年、福島県全域に拡大されたことはご存知の通りです。

現在、詳細調査として、約5%の方に、居住・生活環境中の

化学物質やハウスダストなどを調べたり、アレルギー抗体の採血検査をしたり、面接による精神神経発達検査などが実施されています。福島では多くの方に調査に同意頂き、おおむね順調に進んでいます。

調査で得られた結果から、子どもたちの健康状態、育児環境、子育て家庭の生活実態などについて、いろいろなことがわかってきています。

さて、福島県では全国でもっとも多い約13,000人の参加者がいらっしゃいます。昨年10月から教員として、佐藤晶子医科大学助手が私たちの仲間に加わりました。私たちは福島の子どものこのデータを用いて適切な分析を行い、「安心して産み、育てられる環境を作っていく」という目標に役立てていきたいと考えています。そのためには、皆様が本調査に継続してご協力頂くことが必要です。是非、今後ともご協力のほど、よろしくお願い致します。



エコチル調査5周年 シンポジウムのご報告



エコチル調査5周年記念シンポジウムが1月16日(土)日本科学未来館で開催されました。エコチル調査の集計結果報告と、エコチル調査サポーターで淑徳大学教授の北野大(まさる)先生の講演がありました。講演は『子どもの健康と化学物質』という難しいテーマを、やさしく・楽しく説明してくださいました。集計結果は、子どもの睡眠時間、花粉症やぜんそくなどについての報告がありました。

皆様のこれまでのご協力のおかげで、貴重な調査結果が次々と明らかになってきています。今回発表された調査結果は、今後「エコチル☆ふくしま通信」やホームページでご紹介していきますので、楽しみにしてくださいね。



エコチル調査福島ユニットセンター
医科大学助手

佐藤 晶子です!

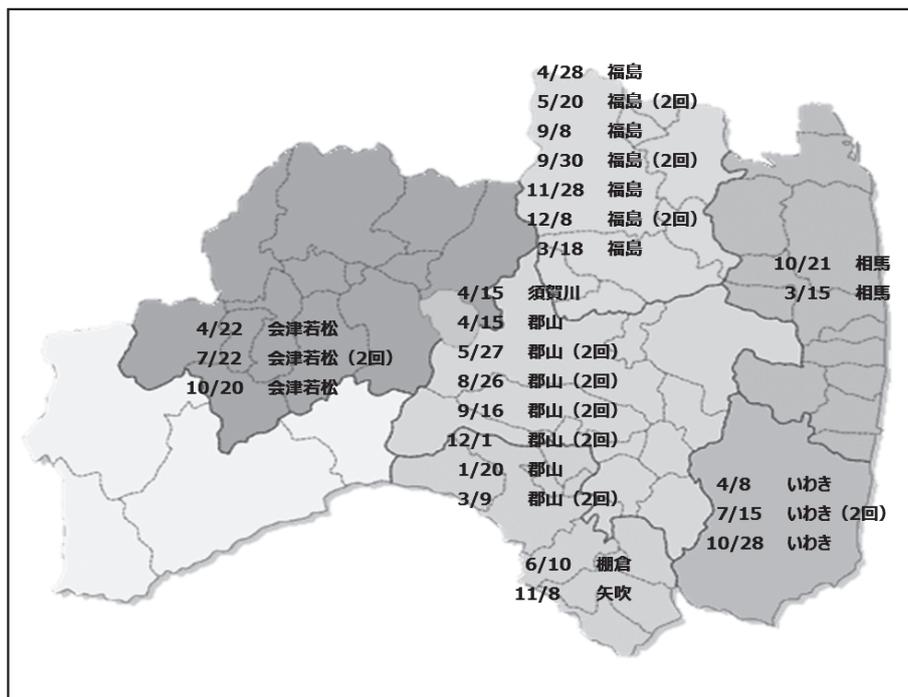
みなさま、はじめまして。昨年10月から福島ユニットセンターの一員になりました。お忙しい中、いつもエコチル調査へのご協力ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いたします。

4. エコチルふれあい会・ふれあいカフェの実施状況

ふれあい会・ふれあいカフェは、福島のお子さんの成長をともに見守るための企画として平成25年度から開始した。ふれあい会は、スタッフにとって親子のふれあい・遊びの場や育児相談などを通じて、当ユニットセンターのモットーである参加者さんとの「顔が見える」コミュニケーションを具体化できる貴重な機会として実施している。

(1)開催状況

平成27年度は県内6地域で計35回開催した。



(2)各対象児のふれあい会・ふれあいカフェの様子

6か月児ふれあい会

最も人気のあるふれあい会でした。

参加者のお子さんたちの成長に伴い、平成27年度で6か月児ふれあい会は終了しました。



わらべ歌ベビーマッサージ



小児科医師のミニ講話



茶話会・子育て相談の時間



みんなの笑顔がとっても素敵です

1歳6か月児ふれあい会

絵本の読み聞かせ・自由遊び・親子体操などを親子で一緒に楽しみました。



保育士の資格を持つスタッフによる、子どもたちに人気の大型絵本の読み聞かせ



自由遊び
手作りおもちゃにみんな興味津々でした



お母さんと一緒に準備運動。上手だね。



ミニ親子運動会みんな元気いっぱい！

3歳児ふれあい会

親子体操(3B体操)の講師の先生を迎えて、全身を使う複雑な運動で体を思いっきり動かしました。



一緒にやってみよう！

ふれあいカフェ

新たな試みとして、子育て中のお母さんがたを応援したいというシンガーソングライターとピアニストにご協力いただき、音楽を通じた親子のふれあい会を1回開催しました。



シンガーソングライター：磯山純さん、ピアノ：鈴木孝彦さんによるライブ



みんなで拍手！



テーブルを囲んで、日ごろの育児の様子などをお母さん同士で情報交換しました

(3)ふれあい会アンケート結果

アンケートは、参加者からふれあい会を含むユニットセンターが行っている事業についてのご意見を頂く貴重な機会であり、ふれあい会実施毎に実施している。頂いたご意見・ご要望は、参加者さんとのコミュニケーション活動計画や実施の改善に役立てている。以下は平成27年度に寄せられたご意見・ご感想をまとめたものである。毎回参加者のほぼ全員からアンケートへのご記入を頂いている。

○ プログラム内容

各プログラムについての参加について「良かった」「まあまあ良かった」と答えた方は、90%以上であった。

各プログラムに対するコメントは以下のとおりである。

● 6か月児

- ・子どもが気持ちよさそうだった。
- ・初めてのベビーマッサージで、やり方がわかってよかった。
- ・歌をうたいながらゆっくり教えて頂いたので、家でもやりたい。

● 1歳6か月児

- ・子どもが喜んで楽しそうだった。
- ・見慣れている内容でも、違った形式で見られて良かった。
- ・たくさん体を動かして良かった。楽しかった！
- ・自由にのびのび、子ども同士ふれあえて良かった。
- ・同年代の子どもと遊ぶ事が初めてで心配でしたが、親が離れていても楽しく遊んでいた。

- ・家でも作れる色々な手作りおもちゃがあり、作ってみようと思った。
- ・子どもの興味があるものが分かり、子どもの興味が広がったと思う。
- ・運動する時間がもう少し長くても良いのではないかと思った。

● 3歳児

- ・親子で楽しくできた。家でもやってみたい。
- ・思いっきり体を動かすことが少なかったので気持ちよかった。
- ・子どもが楽しそうだった。
- ・自宅で実践できるもの、手遊びがあったらよかった。

● ふれあいカフェ

- ・子どもに生の歌声やピアノ演奏を聞かされて良かった。
- ・子連れではライブに行きたくても行けないので嬉しかった。
- ・最初に「子どもが泣いても全然良いよ」と言ってくれて気持ちが楽になり楽しく聞けた。
- ・普段できないことができて嬉しいし、とても息抜きになっています。
- ・(椅子ではなく)マットスペースがもっと広くても良いと思った。

○ 小児科医のミニ講話

- ・日焼け止めのお話が参考になった。
- ・最近のデータなど知れて良かった。
- ・予防接種、B型ワクチン、アレルギーの話など勉強になった。
- ・気になっていた事が聞けて良かった。

○ 茶話会など

- ・他のママさんと話ができて、同じ悩みを持っているんだなと安心した。
- ・他のお母さんと子育てに関する話ができて良かった。楽しい時間を過ごせた。
- ・助産師など専門の方と話ができて良かった。
- ・スタッフの方に子こどもを見て頂いたので、ゆっくり交流ができた。
- ・もう少し交流の時間が長くても良いと思った。

○ エコチル調査への参加について

- ・質問票に回答するだけでその月齢の子がどういう事をしている時期なのか分かって良い。

- ・自分達の生活を見直せる機会になった。
- ・エコチルスタッフの方々との触れ合いや繋がりが有る事で、安心を感じます。
- ・改めて、家族で、子どもの成長や日頃の事を話し合う時間が持てることが良かったです。
- ・上の子がいると下の子の成長はあっという間に大きくなる。下の子もちゃんと見てあげなくちゃと思った。

○ その他

- ・ニューズレターは、ほとんどの人が「みている」との回答であった。
- ・ホームページの閲覧機会は「ほとんどない」という回答が多かった。

5. エコチル調査協力医療機関等一覧

1)産科協力機関(リクルート・妊娠・出産・出産後1か月調査)

平成28年3月31日現在

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当	備考	
1	県北	日本赤十字社 福島赤十字病院	福島市	福島本部 事務所		
2		明治病院	福島市			
3		いちかわクリニック	福島市			
4		ささや産婦人科	福島市			
5		新妻産婦人科	福島市			
6		本田クリニック産科婦人科	福島市			
7		済生会福島総合病院	福島市			
8		大原総合病院	福島市			
9		福島県立医科大学附属病院	福島市			
10		大川レディースクリニック	福島市			
11		菅野産婦人科医院	福島市			
12		セントクリニック	伊達市			
13		二本松ウイメンズクリニック	二本松市			
14		社会保険福島 二本松病院(旧名称)	二本松市			
15		渡辺医院	二本松市			
16		谷病院	本宮市			
17	県中	たなかレディースクリニック	郡山市	郡山事務所		
18		岡崎産婦人科	郡山市			
19		寿泉堂総合病院	郡山市			
20		塚原産婦人科内科外科医院	郡山市			
21		トータルヘルスクリニック	郡山市			
22		太田西ノ内病院	郡山市			
23		星総合病院	郡山市			
24		総合南東北病院	郡山市			
25		古川産婦人科医院	郡山市			
26		国立病院機構 福島病院	須賀川市			
27		小森山産婦人科医院	須賀川市			
28	県南	片倉医院産科婦人科	白河市			
29		白河厚生総合病院	白河市			
30		塙厚生病院	東白川郡			
31		岩佐医院	茨城県久慈郡		福島県民のみリクルート	
32	会津	舟田クリニック産科婦人科	会津若松市			
33		竹田総合病院	会津若松市			
34		会津中央病院	会津若松市			
35		坂下厚生病院	河沼郡			
36	相双	あらき産婦人科クリニック	相馬市	福島本部 事務所	エコチル調査リクルート中断	
37		南相馬市立総合病院	南相馬市			
38		レディースクリニックはらまち	南相馬市			
39		西潤マタニティクリニック	南相馬市			
40		原町中央産婦人科	南相馬市			
41		大町病院	南相馬市			
42		双葉厚生病院	福島市飯坂			
43		今村クリニック	双葉郡浪江町			
44	公立相馬総合病院	相馬市				
45	いわき	村岡産婦人科医院	いわき市	郡山事務所		
46		渡辺産科婦人科	いわき市			
47		かたよせクリニック産科・婦人科	いわき市			
48		NOBUマタニティクリニック	いわき市			
49		いわき市立総合磐城共立病院	いわき市			
50		森田泌尿器科産婦人科医院	いわき市			
51		つくだ町産婦人科医院	いわき市			
52		月川レディースクリニック	いわき市			
53	佐藤マタニティー・クリニック	いわき市				

2)平成27年度 詳細調査、及び疾患情報登録協力医療機関等

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当	備考
1	県北	大原総合病院	福島市	福島本部 事務所	
2		福島県立医科大学附属病院	福島市		
3		福島医療生活協同組合 医療生協わたり病院	福島市		
4		福島赤十字病院	福島市		
5		公立藤田総合病院	国見町		
6	相双	公立相馬総合病院	相馬市		
7	県中	寿泉堂総合病院	郡山市	郡山事務所	
8		太田西ノ内病院	郡山市		
9		星総合病院	郡山市		
10		公立岩瀬病院	須賀川市		
11	県南	白河厚生総合病院	白河市		
12	会津	竹田総合病院	会津若松市		
13		福島県立南会津病院	南会津町		
14	いわき	いわき市立総合磐城共立病院	いわき市		
15		第二子どもの家	いわき市		

6. 平成27年度 福島ユニットセンターの組織図

(平成28年3月31日現在)

